同志社大学

心理学部 父母会会報

DOSHISHA
UNIVERSITY
Faculty of Psychology

No. 04

June.2011

君勉ヨ　天国之途花之山之如シ　辛苦何ソ
恐レン　艱難何ソ憂ルニ足ラン　勉ヨヤ君

「新島襄全集3」柏木義円宛て書簡（明治17年1月20日）より

DOSHISHA UNIVERSITY
Faculty of Psychol

■ ご挨拶 4
■ 父母会ニュース 5
■ 2010年度決算・2011年度予算・2011年度事業計画 6
■ 都道府県別会員数・入試別入学者数 7
■ 学部イベント 8
■ 学生レポート１　「新入生歓迎合宿を終えて」 9
■ 学生レポート２　「ゼミ探訪」 10
■ 学部生の活躍　「心理学実験プロジェクト演習」の研究調査活動 11
■ 就職情報１　「卒業生　就職アンケート」 12
■ 就職情報２　「2010年度採用総括・今後の見通しについて」 13
■ 就職情報３　「キャリアセンター主催の行事予定表（2010年度実績）」 ... 14
■ わたしの学生生活 16
■ ご父母より 18
■ 教員メッセージ 19
■ 新任教職員紹介 20
■ 新島襄クイズ 21
■ 学生生活Q&A 22
■ 学部インフォメーション 23

冒頭に、このたびの東日本大震災により、お亡くなりになられた方々に深い哀悼の意を表するとともに、被害を受けられた皆様に心からお見舞いを申し上げ、あわせて一日も早い復興をお祈り申し上げます。

お子様またはご家族様のご入学・ご進学おめでとうございます。

心理学部父母会も今年で3年目を迎えることが出来ました。教職員の方々、会員の皆様には本会運営にご理解ご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、今年度の入学式後の新入生父母交流会で、在学生代表３名にインタビュー形式で学業やクラブ・サークル活動、生活面での話をしていただきました。学生達の率直な意見や考えなどを聞き、子供達の成長を嬉しく思い、また子供や家族の関わりについて考えさせられることがありました。新入生のご父母の方々には、子供達の大学生活を身近に感じることができたことと存じます。これからもこのような交流会等で父母会の活動が活発になり充実していくことを願っております。最後になりましたが、今後とも教職員の方々と会員の皆様と連携し、子供達が有意義な大学生活を送れますようご支援ご協力をお願い申し上げます。

父母会会長　永野 三和子

ご挨拶

お子様あるいはご家族のご入学・ご進学誠におめでとうございます。

皆様のお子様方が学ばれている同志社心理学が目指しているものについて記しておきたいと思います。

同志社大学の心理学研究室は84年前に設置されました。その後、若干の紆余曲折はありましたが、脈々と受け継いできたものは、物事を一面的にとらえるのではなく、広い視野を持って客観的にとらえることのできる実証的態度をもった人物の育成です。応用を主たる業務とするものは常に基礎の知見に目を向け、基礎の研究を行うものは常に応用に心を置くことのできる人物を輩出してゆきたいと考えています。今年、大学院に2つのコースを設けました。一つは従来通りの心理学コース、もう一つは臨床心理学コースです。このコースで養成したい心理・臨床家も、実証的かつ科学的な見方に基づいた実践を行うことのできる実践家です。同志社の心理学部が他の大学の心理学部と違う点は、基礎心理学のカリキュラム、応用心理学のカリキュラムがバランスよく履修できること、また履修しなければ卒業できないことです。皆様のお子様は、このようにバランスよく心理学を学ぶことができる同志社大学で学ばれています。この利点を大いに生かして、真に“役に立つ”実践家、研究者、社会人となっていただきたいと思います。

心理学部長　鈴木 直人

■ 父母会ニュース

2011年度心理学部父母会総会報告

2011年５月14日（土）、「2011年度心理学部父母会総会」を開催し、役員・先生方を含め総勢78名の方々にご出席いただきました。議事に先立ち、鈴木学部長のご挨拶、主催者紹介（役員・参与）、新任教員紹介と続き、「2010年度事業報告・決算報告」「2011年度事業計画（案）・予算（案）」の議事についてそれぞれ審議の結果、承認を得ました。

「2011年度役員選任」については、前年度役員の方々に留任いただくと同時に、総会・懇親会で選出された１年次生ご父母３名の方に新たに加わっていただくことで承認されました。詳細については、以下の役員名簿のとおりご報告申し上げます。

今年は、心理学部・心理学部父母会共催でご父母・学生参加型の「講演会・就職説明会」も開催しました。講演会では、心理学部 早樫一男教授による「福祉領域における心理学」と題した福祉施設でのカウンセリング経験談を興味深くお話いただきました。就職説明会では、キャリア支援課長 岡村洋子氏より昨今の就職動向など実績をもとにお話いただくとともに、今後の就職活動に際し学生の士気を高めていただきました。

また続いての懇親会ではご父母同士でディスカッション形式の質疑応答も行い、同学年だけでなく縦の繋がりを強めていただく貴重な機会になったのではないでしょうか。

当日、関西をはじめ遠方からも足を運んでいただきましたご父母の皆様、改めて感謝いたします。

今後とも学部および父母会運営にご支援ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

定期総会

講演会

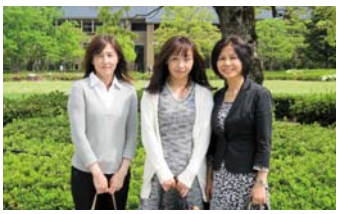
就職説明会

懇親会

2011年度心理学部父母会役員（敬称略）

[父母役員写真]

（後列左より）森川・永野・村田
（前列左より）黒澤・田井・保坂


（左より）田中・池田・有井

[役員]

〔会　長〕永野三和子（３年）
〔副会長〕田井　明美（２年）
〔委　員〕森川久美子（３年）
〔委　員〕有井　潤子（１年）
〔委　員〕田中　純子（１年）
〔副会長〕村田　幸子（３年）
〔監　事〕保坂美津子（２年）
〔委　員〕黒澤佳代子（２年）
〔委　員〕池田　厚子（１年）

[参与]

鈴木　直人（学部長）
杉若　弘子（学生主任）
柳澤　政宏（事務長）
中谷内一也（教務主任）
竹原　卓真（学生主任）

■ 2010年度決算・2011年度予算

(単位:円)

	項　目	2010年度				2011年度	備　考
		予　算	決　算			予　算	
			父母会計	大学会計	小 計		
収入の部	前年度繰越金	248,145	248,145	0	248,145	685,848	
	会　費	1,800,000	1,839,000	0	1,839,000	2,700,000	450名(父母3学年)×6,000円(春・秋学期)
	会合費	49,000	49,000	0	49,000	100,000	1,000円(懇親会参加者100名で算出)
	大学会計より	900,000	0	244,700	244,700	500,000	
	合計	2,997,145	2,136,145	244,700	2,380,845	3,985,848	
支出の部	会報発行費	600,000	619,500	0	619,500	1,000,000	年2回発行
	父母懇談会費	300,000	78,280	35,000	113,280	500,000	父母会懇談会開催(会場使用料、湯茶代など)
	学生援助費	30,000	0	0	0	80,000	見舞金等
	学術研究助成費	50,000	0	0	0	200,000	講演会補助等
	教育補助費	300,000	467,613	0	467,613	300,000	学生向け教育支援(図書購入、セミナー参加、施設見学など)
	謝　礼	10,000	11,500	0	11,500	50,000	会報誌原稿に対する謝礼
	慶弔費	50,000	0	0	0	100,000	会員宛供花料等
	集会費	100,000	14,000	0	14,000	150,000	役員会、参与会他
	人件費	330,000	0	0	0	330,000	学生アルバイト人件費
	事務費	300,000	122,360	135,080	257,440	500,000	印刷費、郵送費(総会・懇談会案内、会報・成績発送費)
	旅費・交通費	250,000	25,060	74,620	99,680	300,000	地方懇談会など旅費、交通費(役員・教職員)
	雑　費	150,000	111,984	0	111,984	250,000	記念品、郵便振替手数料
	予備金	478,145	0	0	0	225,848	
	合　計	2,948,145	1,450,297	244,700	1,694,997	3,985,848	

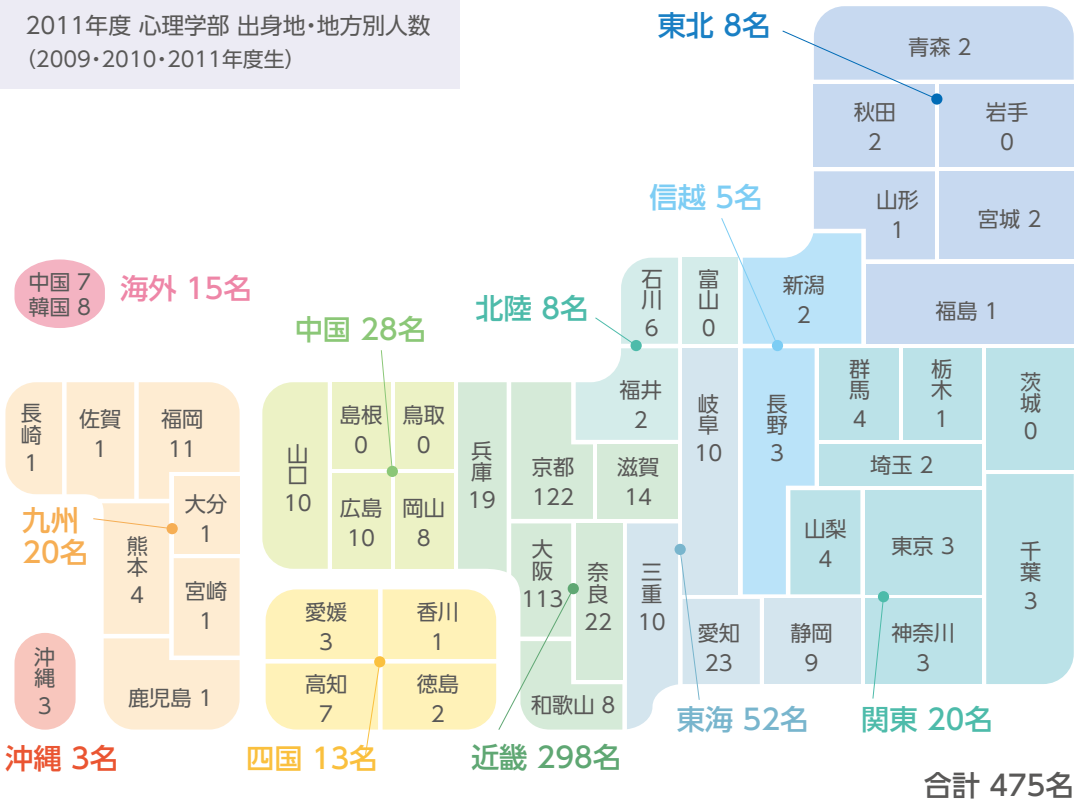
■ 2011年度事業計画

日　付	行　事	場　所
2011年4月1日(金)	入学式・新入生父母交流会	京田辺キャンパス知真館
5月14日(土)	役員会・総会(講演会、懇親会)	京田辺キャンパス夢告館
6月ごろ	父母会報No. 4(春号)発行	
10～11月	地方懇談会(キャンパスフェスタ)	仙台・福井・東京・鹿児島・静岡・山形・広島
11月5日(土)	京都地区懇談会(同志社クローバー祭にて開催)	京田辺キャンパス
12月ごろ	父母会報No. 5(秋号)発行および成績通知書 発送	
2012年1月	参与会	
3月	役員会	

■ 都道府県別会員数

都道府県別会員数は1・2・3年次生の出身地データ、入試別入学者数は入試データをもとに集計しています。(2011年4月現在)

2011年度 心理学部 出身地・地方別人数
(2009・2010・2011年度生)



合計 475名

■ 入試別入学者数

心理学部入学者数	入学定員	一般選抜入試	大学入試センター利用入試	推薦入学					AO入試	留学生入試	3年次転・編入	合計	総計
				公募制		指定校制	法人内諸学校等	キリスト教主義学校連携ネットワーク					
				自己推薦	スポーツ								
2011年度	150	86	2	8	6	12	40	4		8		166	475
2010年度	150	71	1		5	17	40	4	7	3		148	
2009年度	150	79	3		6	16	39	4	8	4	2	161	

■ 学部イベント

入学式

まだ肌寒さが残る４月１日、2011年度同志社大学入学式が執り行われ、桜が咲き始めたばかりのキャンパスは、新入生の笑顔でいっぱいになりました。心理学部には１年次生166名、３年次転入生２名が入学しました。

父母交流会

入学式後、知真館にて、心理学部父母会主催の新入生父母交流会を開催しました。同交流会では、鈴木学部長ご挨拶、教員紹介、永野会長から父母会の活動紹介や役員紹介がありました。加えて、教員と学生によるインタビュー形式の大学生活紹介があり、在学生の生の声を新入生のご父母の方にお届けでき、大好評でした。

The 新入生

4月16日（土）～17日（日）、新入生歓迎オリエンテーション合宿が行われました。
合宿では、研修を通じて心理学の心得を学び、スポーツ活動を通じて、教員や同級生との交流を深め、大学生としての最初の第一歩を踏み出しました。
そして、本格的に授業も始まった新入生にいまの気持ちを聞いてみました。

■ 新入生歓迎合宿を終えて

小さなきっかけ

心理学部心理学科１年次生
都築 朝香さん

私の中で合宿を一言で表すと、「出会いの場」です。私は、合宿の前、友達が出来るか心配でたまりませんでした。しかし、そんな心配をかき消すほど、合宿は楽しいものでした。心理学についての話やクイズ、巨大地震と心理学がどのように繋がるか。オリエンテーションの中で、私達がやるべきことを実感しました。そして、グループ内で話し合ううちに、同級生の心の距離も縮まっていき、本音で語り合えるようになっていきました。

一番楽しかったのは食後の語らいの場で、他の部屋の人とも交流が出来たことです。ほとんど寝ていない人も多かったのではないでしょうか。次の日のスポーツや鬼ごっこでは、体力が保ちませんでしたが……。

合宿を終えて少し落ち着いた最近は、講義の度にこんな会話をしています。「あっ！あの時一緒やった子やんなあ！」「あの時のジェスチャーしりとり面白かったよ！」

合宿が小さなきっかけを沢山作ってくれたのです。沢山の出会いと楽しみがぎっしり詰まった合宿でした。

学ぶということ

心理学部心理学科１年次生
横山 果奈さん

私は合宿を終えて、この大学で学びたいという気持ちが一層大きくなりました。こう思った理由は２つあります。

まず１つ目は、これから共に学ぶ仲間同士で良い影響を与え合えると思ったからです。賛同するだけが良い仲間だとは思っていません。私が出会った仲間は自分の意見が周りと違う意見であっても、自分の考えはしっかり伝え、そのうえ他の人も納得させられるような理由をつけ述べていた。こういったことが自然に出来るという仲間だと知り、良い影響をお互い与え合えると思いました。

２つ目は、知らないということがどれだけの可能性を捨てているかを知ったからです。臨床心理学は知りもせず、興味がないと決めつけていました。だが、この合宿の中で臨床心理学を学ぶことで東日本大震災の被災者を救うことになると知り、これから学んで行きたいと強く思いました。これからの学校生活では、決めつけて行動するのではなく、もっと視野を拡げていきたいと思います。

この合宿をきっかけにもっと有意義な大学生活を送りたいと考えています。

ゼミ探訪

内山 伊知郎ゼミ

ゼミとは？　クラスの分け方は？　研究テーマの決め方は？…
毎号、２年次生にゼミ訪問をしてもらい、素朴な疑問を解決していただきます。

学ぶことの大切さ

心理学部心理学科２年次生
村本 真実さん

今回私達は内山先生のゼミを見学させて頂き、先生や先輩方からお話を伺いました。心理学部では３年次生の７月頃に自分で希望を出し、どの教授のゼミに入るかが決まった後、秋学期からプレゼミがはじまります。内山先生のプレゼミでは学生それぞれが興味のある日本語の論文を読み、その要点をまとめて発表するということをやっていたそうです。そうして徐々に卒業論文のテーマを絞っていき，私たちが訪問した５月初旬にはどの先輩からもテーマについてお話を聞くことが出来ました。また、これから先輩方が研究に使う実験装置も見学させて頂いたのですが、世界に１つしかないという最先端の装置が出てきて驚き、そして、この先このような環境で研究出来ることを幸せに思いました。

私は今までゼミについて考えたことはありませんでしたが、今回ゼミ訪問をさせて頂いたことで、ゼミの様子や雰囲気を直接知ることが出来ました。その中で感じたことはやはり目的意識を持ち、学ぶことの大切さです。今は様々な分野の心理学について学び、自分の興味のある分野を模索していきたいです。そして、卒業するころには納得のいく研究をし、卒業論文を書き上げられたらいいなと思います。内山先生のゼミは和気あいあいとした雰囲気で進められており、今後のゼミが楽しみになりました。内山先生ならびにゼミ生の先輩方、貴重なお時間をありがとうございました。

ゼミ訪問を終えて

心理学部心理学科２年次生
生駒 あんず子さん

ゼミという言葉はよく耳にしていました。しかし、実際どんなものであるか一切知りませんでした。どんなことをするのか、何人でするのか、どのように選ぶのか、わかっていませんでした。しかし、今回ゼミの取材に行ってみて、ゼミとはどんなものであるか少し実態が掴めました。

今回取材でお邪魔したのは内山先生のゼミでした。内山先生のゼミでは乳幼児に焦点を当てていました。まず、乳幼児の実験などに使う装置を見せていただきました。世界で数台しかないような機械や、珍しい装置が数多くありました。「同志社の設備は充実しているなあ。」と実感しました。他のゼミの様子は見ていないのでわかりませんが、多分どこのゼミに入っても、自分の納得できる実験が思う存分できるんじゃないか、と思いました。

次に、ゼミの選び方や、卒論の題材をいつ決めたのか、大学院に行って将来どのような職につくのか、などの質問に皆さん詳しく答えてくださいました。やはり先輩方の意見は参考になりました。

今回のゼミ取材で、なんとなくゼミとはどんなものであるのか理解できましたので、私にとってすごくプラスの経験になりました。３年次生になってプレゼミが始まるにあたって、どの先生のゼミにするのかなどはまだ決めていませんが、しっかり心理学を勉強しようと思いました。

Teacher's Voice

心理学部心理学科
内山 伊知郎 教授

研究計画をたてるために

4年次生では卒業研究に取り組みますが、その計画を立てるために論理性やオリジナルティが求められます。まず、自ら興味のある領域の先行研究を読み、系統だった深いレベルの理解をします。そして、さらにそこから導かれる新しい疑問を実験や調査で解明するわけです。

むずかしいようですが、心理学部での授業を受け、プレゼミやゼミで教員やTAと話をしているうちに自然とできるようになります。ここで培われる科学的思考法は、将来、社会で大いに役立つことでしょう。

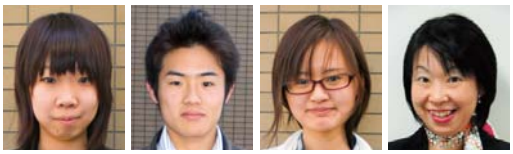
■「心理学実験プロジェクト演習」の研究調査活動

心理学部では、プロジェクト型科目「心理学実験プロジェクト演習」という授業があります。この授業は、一般的な講義とは違い、学生自らが主体的に目標やテーマを決め、問題点を発見し調査することを担う実践的学習です。
今回ご紹介のグループは、学外においてもすばらしい取り組みと認められ、活動内容が新聞にも取り上げられました！（京都新聞2011年2月20日掲載）

テーマ　自転車盗難をなくすために！

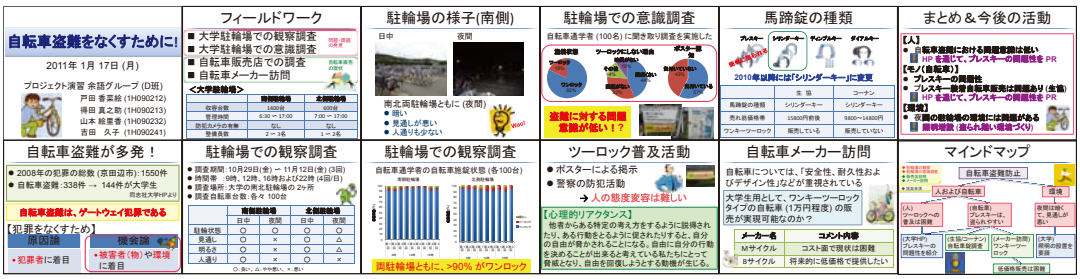
【要 旨】
我々は、社会問題の一つである自転車盗難に関する研究調査を行いました。まず、インターネット検索や京都府警での聞き取り調査を行い情報収集したうえ、実態調査を行いました。その結果、学内駐輪場での自転車の施錠率はかなり高かったものの、そのほとんどがプレスキーのワンロックでした。しかし、プレスキーは防犯上問題がありワンロックでは盗難されやすいことから、我々は大学ホームページを通じて、その危険性を学生に向けて発信することにしました。また、環境面では夜間の見通し・明るさに問題があると思われたため、管轄部門において明るさの検証が行われることになりました。これらの提案は学内だけでなく、一般にも十分に適用できると考えています。

研究調査活動を終えて



心理学部心理学科3年次生
戸田 香菜絵さん、得田 真之助さん
山本 絵里香さん、吉田 久子さん

情報収集から観察および意識調査などの実態調査、そして自転車メーカー訪問、販売店での聞き取り調査など、調査を進めるにしたがって次から次へと課題が浮き彫りになり、この短期間で我々は６つのフィールドワークを行いました。また、担当者が責任を持って調査報告書および出張報告書を作成しましたが、これら全てを併せると22報にもなりました。限られた期間内でこれだけの作業を成し遂げることができたのは、レクチャーで学んだ「個人および全体スケジュールの管理、役割分担の明確化およびグループ内情報共有」を徹底し、計画的に実行した以外に、チームのモチベーションが終始高かったこと、そして多くの関係者の協力を得ることができたからだと思います。正直、本当に忙しくて大変でしたが、この研究調査の社会的意義や仲間と協力し合ってチームでこれだけのことをやってきたという達成感は、一般的な授業では体験出来ない貴重な経験となりました。



■ 卒業生　就職アンケート

深山 ゆきみさん
（2010 年度 文学部心理学科 卒業）

①就職先名：
滋賀県赤十字血液センター

②事前準備で必要なことをお聞かせください。
自分と向き合うこと、現時点におけるこれからの方向性をよく考えることです。方向性はどんどん変化するものだと思いますが、その時点においてしたいこと、自分が重視することを定めておくと企業検索がしやすくなると思います。

③就職活動を始めた時期はいつですか。また何から始めましたか。
派遣留学の終了後、7月の終わりに地方公務員の試験から始めましたが、その後しばらく何もせず、本格的に再開したのは10月頃からです。

④会社訪問をした数はどのくらいですか。
説明会や試験、面接以外での訪問は一度も行いませんでした。

⑤面接は何回くらいありましたか。また、面接で印象に残っている質問やご自身で気をつけられた点は？
私が受けた企業は2次面接もしくは3次面接が最終のところが多かったように思います。どの企業でも質問の形は違えど、本質的には同じようなことを聞かれるので、面接後にその日聞かれた質問とそれに対しての回答をもう一度まとめ直して復習するようにしました。

⑥就職活動中、企業との連絡はどうしていましたか。（メール、携帯電話など）
基本的には、パソコンからのメールでのやりとりをし、面接等の結果は携帯電話で受け取っていました。

⑦就職活動中、授業は受けられましたか。（就職活動と授業のバランスの取り方）
卒業に必要な授業の単位は取り終わっていたので、就職活動と並行して卒業論文のみに取り組んでいました。

⑧就職活動中、大学の支援はどうでしたか。
特に大学のキャリアセンターに相談したり、ということはしませんでした。ただ、普通とは異なる時期に就職活動を行ったため、リクナビ等はエントリーをしても企業から返事がないこともしばしばで、その点大学のホームページに載せられている求人を見ての応募は必ず企業からレスポンスがあり、信頼できるので、大変役立ちました。

⑨就職活動を終えられてどうでしたか。
今年は就職が厳しいと報道されていたり、周りと同時に就職活動を始められなかったこともあって3月までに決まらないのでは、と不安に思う気持ちもあったので、とにかくホッとしました。

⑩就職活動の際、ご家庭から助けられた点、またはこうして欲しかった点などお聞かせください。
私がやろうとすることに、特に口出ししないでいてくれたことが、一番有難かったです。

⑪在学生へメッセージ
就職活動で不合格をもらうと誰しも、自分の人間性を否定されたような気持ちになることがあると思います。しかし、就職活動を終えて入社した今、私が内定をいただけたのも本当に「縁」だなあと思います。ありがちな面接テクニックなどに惑わされず、是非自分らしくありのまま、自分のペースで就職活動に臨んでください。また、面接は企業が私達を判断する場であると同時に、私達が企業を判断でする場でもあると思います。初めは空気に飲まれてしまうかもしれませんが、慣れたら、少し冷めたくらいの目線で人事の方の様子から会社の雰囲気を評価してみると、その企業の特徴も見えますし、落ち着いて受け答えができるようになると思います。皆さんが納得できる「縁」で結ばれるよう、応援しています。

溝端 亜樹さん
（2010 年度 文学部心理学科 卒業）

①就職先名：
株式会社第三銀行

②事前準備で必要なことをお聞かせください。
大学生時代を学業、サークル、アルバイト、趣味などで充実させること

③就職活動を始めた時期はいつですか。また何から始めましたか。
３年次生の秋から、リクナビやマイナビの登録と、プレエントリーをしながら企業探しをしました。

④会社訪問をした数はどのくらいですか。
40社くらいです。

⑤面接は何回くらいありましたか。また、面接で印象に残っている質問やご自身で気をつけられた点は？
15回くらいです。
印象に残っている質問はどの会社でも毎回言われたのですが、「なぜ、うちの会社（銀行）を選んだのか?」という質問です。やはりこれがしっかりしていなければならないと、面接のたびにしっかりと考えました。

⑥就職活動中、企業との連絡はどうしていましたか。（メール、携帯電話など）
メールや携帯電話、書類の郵送で連絡をしていました。最低限失礼なことはないように、書類だけで送ったりせず時候の挨拶をつけるなどに気をつけていました。

⑦就職活動中、授業は受けられましたか。（就職活動と授業のバランスの取り方）
単位はかなりしっかり取っていたので、３年次生の秋はほぼ授業がなく、差し支えありませんでした。

⑧就職活動中、大学の支援はどうでしたか。
大学から家までが遠かったこともあり、あまり支援は受けることができませんでした。
大阪サテライトには在学証明書などを取りにしばしば寄っていました。

⑨就職活動を終えられてどうでしたか。
エントリーや面接に何回も落ち、自分に自信がなくなることも数多くありましたが、計画を立て、落ちたら修正を加えて、もう一度挑戦して…と社会人になるための準備をすることができたと思います。良い経験となりました。

⑩就職活動の際、ご家庭から助けられた点、またはこうして欲しかった点などお聞かせください。
エントリーシートや面接の結果について深く聞かれず、落ち込んでいた時にはそれが一番うれしかったです。
しかし、やはり心配はしてくれていたので、途中経過を話して安心してもらったり、ときにはアドバイスをもらったりすることもありました。

⑪在学生へメッセージ
就職活動はときには厳しいことを言われたり、プライドを傷つけられたりすることもあります。
それでもきつい言葉の裏には、企業側の理由があることが多いのであまり深く考えないようにしてください。
内定がゴールではなく、スタートだと今になれば本当にそう思います。頑張ってください。

■ 2010年度採用総括・今後の見通しについて

キャリアセンター　キャリア支援課長　岡村洋子

昨年は就職活動に苦戦する大学生のニュースがたびたびマスコミを賑わせました。とりわけ文部科学省と厚生労働省が発表した2010年10月現在の大卒就職率が57.6%と調査開始以来過去最低の数字だったことは記憶に新しいところです。政府は、企業に対して既卒３年以内は新卒扱いとするよう要請、ハローワークにおける若年者相談コーナー設置や雇用奨励金の導入等々と新卒の就職支援に乗り出しました。

このような厳しい雇用情勢ですが、リーマンショックを乗り越え、新興国市場の成長に伴って景気が上向き傾向にあったことから、企業の新卒に対する採用意欲が戻ってきました。過去のバブル崩壊時に新卒採用を極端にしぼった企業は、企業経営の中核を担うべき人材の空洞化を招き、その後の人材構成に影響を受けました。現在では、企業はコア人材を安定的に採用する姿勢と、採用基準を下げてまで採用しないという姿勢から、「厳選採用」の傾向が強くなったといえます。

2011年４月採用の学生の内定率は、下表「内定状況一覧表」のとおりです（内定率=内定者数÷就職希望者数）。それによりますと、文学部心理学科の就職希望者は全員就職できました。業種別では金融の比率が高くなっています。

2012年４月の大学生の採用動向につきまして、リクルートワークス研究所が昨年12月20日に発表した「ワークス採用見通し調査」（民間企業4495社（回収率64.9%））によりますと、「増える」（9.3%）が「減る」（7.5%）をわずかに上回っており、「わからない」が28.6%と前年より８ポイント減少していることから、薄日が差すも今後の景気動向に大きく左右されると予測していました。東日本大震災により、企業の業績見通しが不透明な中で2012年４月採用については予断を許さない状況です。キャリアセンターでは、今後の動向に注目しつつ、個別相談を中心に学生一人ひとりの特性と志向に沿った就職支援を行っていきます。

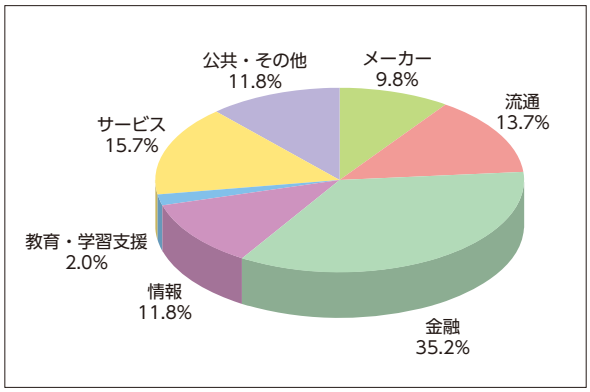
2010年度（2011年４月採用）就職データ

内定状況一覧表（文学部心理学科）

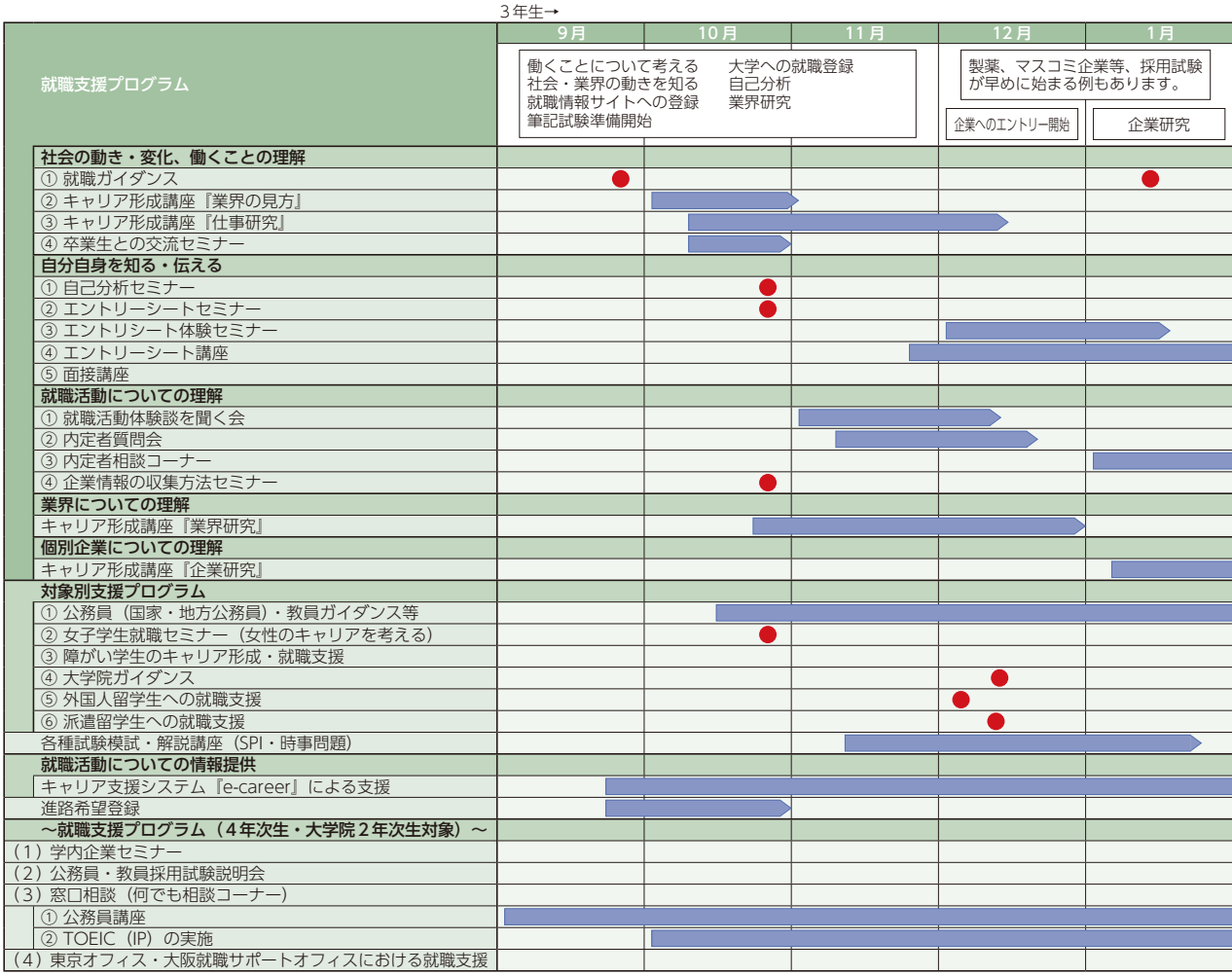
就職希望者数			内定者数			内定率			
男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	昨年度
12	39	51	12	39	51	100.0	100.0	100.0	93.9

業種別就職状況（文学部心理学科）

	男	女	合計	%
メーカー	1	4	5	9.8%
流通	2	5	7	13.7%
金融	3	15	18	35.2%
情報	2	4	6	11.8%
教育・学習支援	0	1	1	2.0%
サービス	3	5	8	15.7%
公共・その他	1	5	6	11.8%
総計	12	39	51	100.0%



■ キャリアセンター主催の行事予定表（2010年度実績）



キャリアセンターを活用しよう

みなさんの進路選択や就職活動をきめ細かくサポート

【行事に参加しよう】（詳細は上段の表を参照）

キャリアセンターでは、学外講師・卒業生・企業の担当者を招き、各種ガイダンスやキャリア形成講座などの催しを開催します。講演型の催しだけではなく、グループワーク型や体験型の催し（エントリーシート体験セミナー、エントリーシート講座、内定者質問会、卒業生との交流セミナーなど）も開催します。

日ごろから掲示板やホームページに注意し、積極的に参加してください。

最初は「働く」ことに対して漠然としたイメージしか持てなくても、これらの行事に参加していく中で、「こういう業界でこんな仕事がしたい」という具体的な目標を各々が見い出し、就職活動のスタートを切る原動力が生まれるはずです。

なお、講演型の催しはホームページ上で視聴できるものもありますので、参加できなかった場合は活用してください。

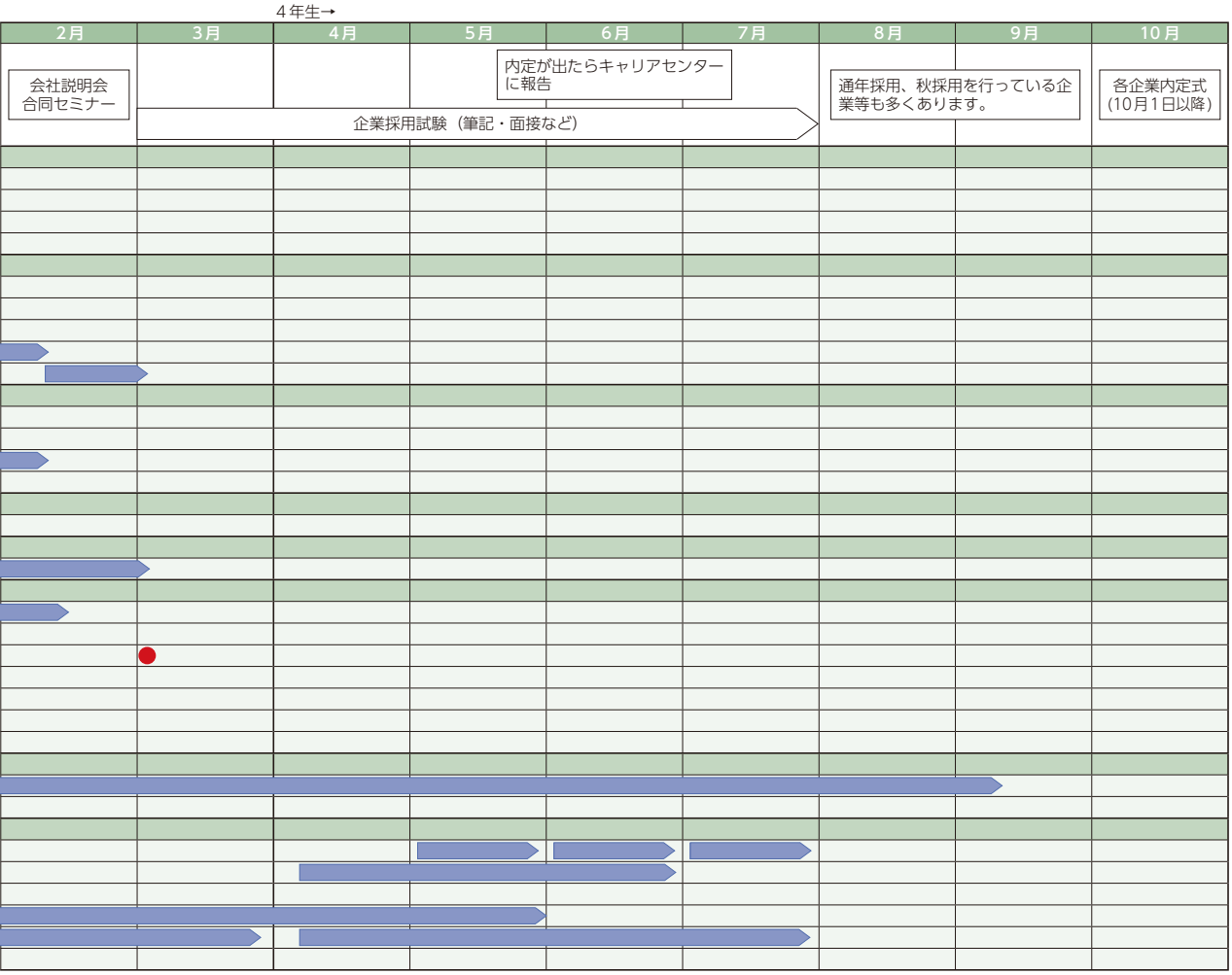
https://career.doshisha.ac.jp/shushoku/saishin.html

【個別相談を利用しよう】

初めての就職活動では、だれもが悩みや不安・疑問にぶつかるものです。

キャリアセンターの窓口では、スタッフがみなさんの個別の相談に随時応じています。一人で悩まず、どんなことでも聞いてください。

人と話をすることによって自分が見えてくるということもあります。「相談」というと、身構えてしまう人が多いようですが、「話をしに行く」という気持ちで気軽に来室してください。



【情報を収集しよう】

キャリアセンターでは、求人情報、最新の企業情報や、先輩が残した就職活動体験記などの情報を提供しています。(卒業生アンケートや訪問リストなどの卒業生情報も提供しており、これらは OB・OG 訪問に役立つと好評を得ています。）また、閲覧用に書籍や雑誌、新聞も設置しています。

さらに、キャリアセンターホームページ内にキャリア支援システム「e-career」を設け、就職情報を提供しています。

【掲示板をいつもチェックしよう】

行事の開催など、キャリアセンターからのお知らせは、掲示板およびキャリアセンターホームページで行います。緊急性の高いお知らせもあるため、見落としのないようにしてください。

京田辺校地　キャリアセンター掲示板（２ヶ所）

・知真館２号館２階（TC2　２階）
・恵道館２階（KD　２階）
学内セミナー、インターンシップなど

＊キャリアセンター内にも様々な掲示があります。

京田辺校地　キャリアセンター（同志社ローム記念館３階）

期間	月～金
4月1日～5月31日	9：00～18：00
6月1日～12月31日	9：00～18：00（講義・試験期間）
	9：00～17：00（上記以外）
1月1日～3月31日	9：00～18：00

・12：00～13：00の間、相談を休止しています。
・土曜日・日曜日・祝日・本学の定める休日は、事務室・資料室ともに閉室しています。
・８月第三週月～金までは閉室しています。
・開室時間などの変更については、キャリアセンターホームページでお知らせします。
・就職相談は時間に余裕をもって来てください。午後は混み合うことがあります。

『就職ガイドブック 2011』より一部抜粋

わたしの学生生活

みんなのおかげで

古藤 絵理さん［心理学部心理学科２年次生］

同志社大学に入学して二度目の春が巡ってきました。最初は右も左もわからなかった私が、今では新入生に道を尋ねられるようになりました。

私は同志社大学学生保健部会というサークルで健康にまつわるボランティア活動をしています。アルバイトは大学内のカフェベーカリーでパンを焼いています。下宿では友達と料理会をして、レパートリーも増えました。

毎日忙しく充実した日々を送っていますが、一年前の入学直後に体調を崩してしまい、春学期の大半を休んでいました。秋学期に復学するときには「半年勉強に遅れてしまった。そもそも今から友達できるかな」と不安でいっぱいでした。それでもみんな受け入れてくれて、慣れない大学生活を支えてくれました。今は休んでいたときの授業を１年次生と一緒に受けることもありますが、先輩の私にも分け隔てなく接してくれます。

こういった経験から、心理学部のみんなは優しくて人の心に敏感であると感じ、感謝の気持ちでいっぱいです。「心」を志して集まった仲間と共に学べる時間をこれからも大切にしていきたいと思います。

わたしの学生生活について

上田 亮さん［心理学部心理学科２年次生］

昨年の４月、私は大学という全く未知の空間でどう過ごせばいいのだろう、友人は出来るのだろうか、という不安を抱えていました。しかし、心理学部は学部全体に一体感があり、様々なイベントを通して皆で輪を作っていく空気のおかげで、すぐ打ち解けることができ、恵まれた友人関係を作ることが出来ました。昨年１年間、講義や実験で心理学に触れ、もっと深く知りたいという気持ちが日に日に強くなりました。春から２年次生になり専門的な講義が履修できるようになったので、出来る限り様々な心理学に触れたいと考えています。

現在、私は心理学サークル、バドミントンサークル、写真サークルに所属しています。自分の好きな事をしながら、色々な学部、様々な学年の方と交流することが出来るので、それぞれでとても良い刺激を受けることが出来ます。

今年は京田辺キャンパス開校25周年ということで、京田辺校地の学園祭であるクローバー祭の実行委員という形でこの京田辺を盛り上げていこうと考えています。昨年は、大学は自分から動かないと何もできないということを肌で感じました。今後もやりたいと感じた物には積極的に参加し、卒業する時に「忙しかったけど、充実してあっという間の４年間だった」と思い返せる学生生活を送っていきたいです。

在学生PHOTOアルバム ～学生生活の一コマより～

私にとっての心理学

井川 千紗都さん［心理学部心理学科３年次生］

心理学を学び始めたころ、それ自体は興味の持てる面白い学問ではありましたが、では将来何か役に立つのだろうかと考えていました。特に大学院へ進学せず、就職を考えている私は強くそう思っていました。しかし、一年二年と学んでいくうちに、今では全く違う考えを持っています。授業で様々な心理学に触れ、様々な視点を知ることで、以前より人を多面的に見ることができるようになりました。発表の場面ではその難しさを知り、どうすれば分かりやすく効果的に人に伝えられるのか、考えさせられました。また、実験レポートを書いたり、論文を読んだりすることで、理論立てて考えることも少しずつ身についてきたと思います。これらは全て私が心理学を勉強しながら学んだことです。

今、私がこのように少しずつではありますが成長できるのも、恵まれた環境を与えてくれている両親や、新しい世界や考えに触れさせていただける先生方、そして、いつも支えてくれる友人のおかげです。心から感謝するとともに、自分が選んだ心理学という学問を通して、これからも成長していきたいと思います。

文字を書く

中 優太さん［心理学部心理学科３年次生］

大学に入学して二年の月日が流れ３年次生になったのですが、年月の流れの速さを実感しています。近年のデジタル化により、「文字を書く」ということが疎遠になりつつあり、また社会や時代が忙しく変動しています。

しかし、僕はその中で心を穏やかに緩やかな時の流れを感じることのできる書道に携わっています。幼稚園の頃から書道を習い始めてもう十五年になろうとしていて、大学でも同志社の書道部に身を置き、書道の伝統の雰囲気と芸術性に惹きつけられた仲間と共に日々精進しています。僕が思うに書道はスポーツと比べて、自分がおじいちゃんになってもできる、一生ものであります。

また、現在まで磨き上げた腕前も今後一生の財産になり、将来の武器になります。これからも書道を通じて培った忍耐力や集中力で、書道はもちろん、残りの大学生活の勉強、そして将来に向かって精一杯やっていきたいと思います。

※心理学部ホームページにも多数の写真を掲載しています。（裏表紙参照）

青森から

安保 俊
（心理学部心理学科２年次生　安保 慶二）

中学、高校時代から京都の文化に興味があった息子が、「京都の大学に行きたい」と言い出した時は、「そんな遠い所に」と驚くと共に「やはりね」と納得する気持ちがありました。

青森とは言葉や文化、慣習が違う関西でのひとり暮らしは、心配でしたが、良き先生や友人等に恵まれ、充実した学生生活を送っている様で安心しております。

息子は今、様々な事を経験、吸収して成長する、人生の中で一番輝いている時期を過ごしています。

ですから、勉学に限らず何事にもチャレンジして、世の中はあらゆる面で広く、色々な人がいることを経験し、自分を大きくして欲しいと思っています。

大震災の日、実家に戻っていた息子と、ろうそくの灯りで夜を過ごしましたが、成長した言動を頼もしく思いました。必ず、東北は元気になりますので、安心して学生生活を送って下さい。

父より

有意義な学生生活

藤本 由美子
（心理学部心理学科３年次生　藤本 健太）

雨の入学式からあっという間に２年が過ぎました。いろんな環境の友達と話をし、いろんな事に興味を持ち、有意義な学生生活を送っているのがよく解ります。

３年次生になったので就職の事もやんわり話してみますが、頭の中は体育会の事がほとんどのようですね。

授業では今出川と京田辺を行き来し、授業が終ると体育館へ。土日も試合があるので休みもないのに嫌な顔ひとつせず家を出ていきます。毎日夜11時半に帰ってきて御飯を食べながらいろんな話をしてくれる健太の顔はいきいきしています。ポジティブな考え方が元気の源なのかもしれませんね。

これからも体に気をつけて、いろんな事を体験し、学生生活を満喫してほしいなと思います。

母より

震災復興支援チャリティ・ワークショップ

心理学部心理学科　武藤 崇 教授

2011年4月3日（日）に、先日発生した東北地方太平洋沖地震の復興支援のためのチャリティ・ワークショップを、同志社大学心理学部・心理臨床センター主催（今出川校地・継志館；ACT Japanとの共催）にて、主に心理専門職の方を対象に開催しました。その研修会の内容は，震災後に生じる可能性のある精神疾患に対する科学的な心理ケアについてでした。特に、午前中は「サイコロジカル・ファーストエイド」という災害や大事故などの直後に提供できる、心理的支援のマニュアルについて解説しました（そのマニュアルは、http://www.j-hits.org/psychological/index.htmlから無料でダウンロードが可能です）。

当日は、定員を上回る62名の方に参加いただき、その参加費の全額が日本赤十字社に復興支援のための義援金として寄付されました。

心理学における統計教育について

心理学部心理学科　畑 敏道 准教授

私が担当している「心理学統計法」を初めとする統計関連科目は、多くの心理学専攻生にとって最大の難関です。これは、日本では心理学専攻が従来から文学部に設置され、多くの学生が入学試験を文系科目で受けてきたためでしょう。私自身、数学はすでに小学生のころから苦手でした（哀しいほどに、謙遜ではありません）。こんな私が何の因果か、統計を教える立場になっているのはなんとも不思議です。

しかし、私自身が苦手だったからこそ、苦手に感じる学生の気持ちは人一倍よく分かるつもりです。心理学では統計は道具であって、研究対象ではありません。「携帯電話が動く仕組みを知らなくても、皆さんは簡単にそれを使いこなしているでしょう。統計も理屈は判らなくても、きっと使えるようになります」と繰り返し強調していますが、目の前の学生だけでなく、泣いたりすねたりしながら統計の勉強をしていた20年ほど前の自分自身を、間接的に励ましているのかもしれません。

大学教員の２つの顔

心理学部心理学科　及川 昌典 助教

教壇に立って学生たちに講義をする大学教員たちには、もうひとつの顔があります。それは科学を推進する研究者としての顔です。研究の実績は普段は見えにくいものですが、次の社会を築く大切な基盤になっています。また、実は学生の教育とも密接に関係しています。大学教育には5年後、10年後まで教科書には載らない、先端研究の成果がたびたび登場します。私たちの発見とそれらがもたらす多様な学術・応用的意義を、科学者や専門家たちばかりでなく、学生たちに広く伝えていくことは、大学教員の大切な仕事のひとつです。

このような教育機関としての大学の働きは、研究機関としての大学の役割にも重要な意味を果たしています。科学研究がその本来の道筋を外すことなく、社会の発展に貢献し続けるためには、十分な教養を持った人々の目が必要になります。また、その力を育むためには、優秀な研究者（兼教育者）が必要になります。教育と研究の両論を兼ね備えていることが、大学を最高教育機関、そして特別な研究機関にしているのです。

新任教職員紹介

新任教員

早樫（はやかし） 一男（かずお） 教授

①研究分野：福祉臨床心理学・家族臨床心理学
②研究テーマ：
児童、障害、司法（非行）の各分野における福祉と臨床心理学の統合についての研究、及び、家族臨床の分野における臨床心理学的援助に関する研究
③学生へメッセージ：
長年、福祉臨床現場（相談業務が中心）での経験を積み重ねてきました。その中で大切にしてきたキーワードがあります。それは、相手を理解すること、想像力、バランス感覚です。心理学部での学びを通して、この３つをぜひ磨いてください。

石川（いしかわ） 信一（しんいち） 准教授

①研究分野：臨床児童心理学
②研究テーマ：
実証に基づく臨床心理学の立場から、子どもを対象とした認知行動療法、および学校でのメンタルヘルス向上のプログラムについて研究しています。
③学生へメッセージ：
21世紀は「こころ」の時代です。ここ同志社大学で、「こころ」を学び、「こころ」を探求し、「こころ」を鍛え、そして「こころ」を大切にする人間になってください。

新任職員

柳澤（やなぎさわ） 政宏（まさひろ） 事務長

①所属：心理学部・心理学研究科事務室
②学生へメッセージ：
「諸君ヨ、人一人ハ大切ナリ」新島襄のことばです。心理学部では、教育・研究に熱心な先生方により、学生一人ひとりに対するきめ細かな指導が行われています。さらに大学での学びと生活をより充実したものにするためには、図書館をはじめ、学生支援センター、教務センター、国際センター、キャリアセンターなどの組織、大学の持つ資源を最大限に活用してください。
私たち事務室一同も全力でバックアップします。

新島襄クイズ

新島くんが出題するクイズに挑戦!!

新島襄検定問題集より抜粋

【正解数】
全　　問…立派な同志社人！
４～５問…もう少しで同志社人！
２～３問…気持ちは同志社人！
０～１問…がんばれば同志社人！

Q1

新島襄の乗った船がボストンに近づくと、２つの大ニュースが伝えられました。ひとつは、南北戦争終結。さて、もうひとつは？

①リンカーン大統領の暗殺　②明治維新
③ハリケーン襲来

A ①リンカーン大統領の暗殺　ボストンに届いたのは、函館を発ってから約12ヶ月後の1865年7月20日でした。

Q2

新島襄は、後に札幌農学校教頭となるW・S・クラークにアーモスト大学である教科を習いました。
さて、教えてもらったのは何の科目？

①化学　②数学　③英語

A ①化学　新島は、W・S・クラークの初めての日本人学生でした。

Q3

アーモスト大学は、新島襄の功績を称え、ジョンソン・チャペル内部の正面に今も肖像画を掲げています。
さて、その対にある肖像画は誰の肖像画？

①イエス・キリスト　②アメリカ大統領
③アーモスト大学創立者

A ②アメリカ大統領　第30代アメリカ大統領は、卒業生のC・クーリッジでした。

Q4

同志社英学校の開校時、教師は新島襄とJ・D・デイヴィスの２人でした。
では、生徒は何人？

①５人　②８人　③15人

A ②８人　生徒のほとんどは、デイヴィスが神戸から勧誘してきた生徒たちでした。

Q5

新島襄が自ら左掌を杖で打った「自責の杖」事件は、学生ストライキが発端でした。
さて、その原因は？

①学生たちが慕っていた教師の解雇
②数人の学生の退学事件
③２年生の上・下クラス合併を学校当局が決議したこと

A ③２年生の上・下クラス合併を学校当局が決議したこと　新島は洋服で、「校則違反の罪でも教員の罪でもない。すべて校長である自分の落ちぬ度である」と同僚も校外にいる生徒らの反撃を打破けたとい う逸話がやでも語り継がれています。

Q6

新島襄は２度目の欧米旅行の際、ドイツで後に有名な作家となる少年と出会っています。
さて、その少年とは？

①T・マン
②H・ヘッセ
③J・W・von・ゲーテ

A ②H・ヘッセ　この時、まだヘッセは７歳だったそうです。

学生生活 Q&A

CAMPUS Q&A

学生生活における心理学部へのよくある質問にお答えします。

Q1 心理学部には教員推薦図書など置いてますか？

A 2011年度より父母会予算で購入した心理学部教員の推薦図書を設置しました。
京田辺校地心理学部事務室（香柏館低層棟1階）にて貸与しています。ぜひご利用ください。
※貸出ルールなど詳細は心理学部ホームページ在学生のページより参照できます。

図書一覧（計106冊より一部抜粋）

メイザーの学習と行動	オープニングアップ
心理学研究法 －心を見つめる科学のまなざし	感情心理学・入門
実験心理学の新しいかたち	被服と化粧の社会心理学
食べる食べたくなる心のしくみ	心理学総合辞典
応用心理学事典	Excelでやさしく学ぶアンケート処理
顔研究の最前線	自分を知り、自分を変える 一適応的無意識の心理学
SPSSのススメ 1	無意識と社会心理学 一高次心理過程の自動性
SPSSのススメ 2	心理学 実験・研究レポートの書き方 一学生のための初歩から卒論まで
心の仕組み	リスクのモノサシ
安全。でも安心できない	心理測定尺度集

Q2 大学生協で食券のようなプリペイドカードがあると聞いたのですが…

A 同志社生協では食堂定期券ミールカードがあります。
安心かつ健康的に１年間サポートしてくれます。お問いあわせは、生協カウンターまで。

安心　「食費」を１年分確保！
限られたお金の中から、家賃や光熱費、携帯代と、自分で管理して払っていかなければならないひとり暮らし。気が付けば、お金が残りわずか！ということもしばしば。そんな時、一番に削りがちなのが食費です。慣れないひとり暮らしで、生活費から毎日3食の食費を確保することは、とても大変です。ミールカードを購入すると、一年間一定金額の食事を毎日利用することができます。急な出費があった時もミールカードなら前払いしているので、「お金がなくて食事ができない」「食事を我慢する」などと困ることがありません。食費が携帯代や交際費に変わることなく、確実に食費になることが最大の魅力。
※タイプによって利用期間が異なります。

健康　規則正しく食べる健康的な食習慣へ。
ミールカードは毎日財布の中身と相談せずに食事ができるので、カップ麺やおにぎりだけ、菓子パンだけの食事、食事抜きなどの栄養不足になりがちな食事を防ぐことができます。生協食堂では、野菜を使った小鉢やサラダもたくさん用意しています。ミールカード利用者は、小鉢やサラダをプラス一品とる人が多く、より栄養バランスの良い食事ができます。

安心　再発行ができます。
ミールカードを紛失した場合、再発行ができます。しかし再発行には数日かかりますので、その間の食事は現金での利用になります。ミールカードは現金と同様に大切に保管しましょう。（再発行には別途手数料3,000円が必要です。）

安心　「安全」にこだわっています。
大学生協では、安全で品質の高い食材を選び、食品添加物の使用自主基準を厳しく決めています。主要食材の原産地を公表しています。食材の生産地との交流を深めています。
厨房の衛生管理や食堂スタッフの衛生教育に力をいれています。

安心　利用履歴をご実家へお届けします。
ご家族の一番の気がかりは、離れて暮らすお子様の食生活ではないでしょうか。そんな悩みを利用履歴のお便りが解決。1か月ごとに利用状況の履歴をお送りします。すでに実施している大学での保護者の方から「大学での生活ぶりも知ることができる」と大変ご好評をいただいています。

魅力　メニューはバラエティ豊かです。
忙しくて自炊できない時も安心です。実験や、レポート作成で、学内を離れられないことが多いので学内での食事ができると、欠食することもありません。基本食堂では、主食、主菜、副菜を自由に選んで組み合わせていただけます。量り売りのサラダバー、小鉢デザートなども豊富なメニューから選べます。又、毎月のようにフェアや企画メニューがあり、飽きずに楽しく食事ができるような工夫をしています。

魅力　卓上メモや食生活相談会　食生活サポートします。
健康的な食生活のために、プライスカードやレシートにも栄養情報を表示。キャンパスライフにフィットした健康や食生活に関する情報を卓上メモでお知らせしています。
管理栄養士による食生活相談会も年2回（春・秋）開催。食べ方情報を提供して健康的な食生活への応援をしています。

■ イベント情報

心理学部イベント

6月18日(土)	心理学会・心理学同窓会共催 “卒業生と在学生の懇話会” 【心理学科生、心理学部生、心理学研究科院生対象】
7月24日(日)	京田辺校地　オープンキャンパス ・心理学体験コーナー （心理学の簡単な実験を体験していただけます） ・模擬講義（心理学部教員が行います） ・心理学部説明会 【どなたでもご参加いただけます】
7月31日(日)	今出川校地　オープンキャンパス ・模擬講義（心理学部教員が行います） ・心理学部説明会 【どなたでもご参加いただけます】
10月1日(土)	心理学部開設記念シンポジウム（詳細未定） 【どなたでもご参加いただけます】
10月頃	ソフトボール大会（予定） 【心理学科生、心理学部生、心理学研究科院生対象】
10～11月	心理学部地方懇談会 大学主催 キャンパスフェスタと同時開催 （開催場所は下表参照） ※京都地区は11月5日(土)同志社クローバー祭にて開催予定（詳細未定） 【どなたでもご参加いただけます】

詳細未定のイベントが多数ですが、その他のイベントも含め、随時ホームページにてご案内させていただきます。ぜひ心理学部ホームページをご覧ください。（※アクセス方法は、裏表紙参照）

同志社キャンパスフェスタ（心理学部地方懇談会）案内

卒業生・学生父母・受験生対象に開催されるイベントです。同志社卒業の著名OBによる講演会、入試説明会などが行われます。父母会では、心理学部地方懇談会を同時開催しますので、同地域にお住まいの方はぜひご参加ください。「同志社キャンパスフェスタ」案内は大学の校友・父母課より、「心理学部地方懇談会」案内は父母会より、郵送します。開催場所は以下のとおりとなります。

2011年度　同志社キャンパスフェスタ（心理学部地方懇談会）　開催日程・会場

開催日	開催地	会場
10月1日(土)	仙台	KKR HOTEL SENDAI　（JR「仙台」駅 徒歩15分）
10月8日(土)	福井	福井パレスホテル　（JR「福井」駅 徒歩12分）
10月10日(月・祝)	東京	六本木アカデミーヒルズ49　（地下鉄日比谷線「六本木」駅 徒歩3分）
10月23日(日)	鹿児島	みなみホール　（JR「鹿児島中央」駅 バス15分）
10月29日(土)	静岡	ツインメッセ静岡　（JR静岡駅 バス10分）
11月19日(土)	山形	山形グランドホテル　（JR「山形」駅 徒歩15分）
11月26日(土)	広島	広島グランドインテリジェントホテル　（JR「広島」駅 徒歩7分）

※京都地区の心理学部地方懇談会は11月5日（土）同志社クローバー祭にて開催予定です。（詳細未定）

■ 学部学年暦

春学期	2011年 4月1日(金)	春学期始め・入学式	
	2日(土)	春学期入学式（国際教育インスティテュート）	
	2日(土)	新入学生履修指導期間	
	3日(日)		
	4日(月)		履修科目登録期間
	5日(火)		
	6日(水)		
	7日(木)	講義開始	
	28日(木)	春学期学費納入最終日	
	30日(土)	休日	
	5月2日(月)		
	7月18日(月)	海の日（授業日）	
	27日(水)	講義最終日	
	28日(木)	期末試験開始	
	8月9日(火)	期末試験終了	
	10日(水)	夏期休暇開始	
	9月14日(水)	夏期休暇終了	
	15日(木)	在学生成績通知書配付	
	20日(火)	春学期終り	
	24日(土)	春学期卒業式・学位授与式	
秋学期	9月21日(水)	秋学期始め・秋学期入学式	
	22日(木)	履修科目登録変更	
	24日(土)	履修科目登録変更	

秋学期	9月26日(月)	講義開始
	10月10日(月)	体育の日（授業日）
	31日(月)	秋学期学費納入最終日
	11月5日(土)	同志社京田辺祭（スポーツフェスティバル）
	6日(日)	
	26日(土)	創立記念行事週間（休講）
	27日(日)	
	28日(月)	
	29日(火)	創立記念日（休日）
	12月25日(日)	キリスト降誕日（休日）
	27日(火)	冬期休暇開始
	2012年 1月5日(木)	冬期休暇終了
	6日(金)	講義再開
	23日(月)	創立者永眠の日
	26日(木)	講義最終日
	27日(金)	期末試験開始
	2月16日(木)	期末試験終了
	3月上旬	卒業可否発表
	3月20日(火)	秋学期卒業式・学位授与式
	21日(水)	
	22日(木)	
	24日(土)	在学生成績通知書配布
	31日(土)	秋学期終り

心理学部ホームページを
ご活用ください！
詳しい情報を随時発信
してまいります。

同志社大学心理学部　検索

http://psych.doshisha.ac.jp/index.html

◉重要なお知らせ

「心理学部父母会」ページのログインにはパスワードの入力が必要です。パスワードは毎春号にてお知らせします。

◉2011年度心理学部父母会ログインパスワード
「pcy2prs1」半角英数字

「在学生の方へ－フォトアルバム」ページもぜひご覧ください。
お子様たちの活動写真を掲載しています。
こちらもログインにはパスワードの入力が必要です。

◉2011年度心理学部PHOTOログインパスワード
「stpic11」半角英数字

ご父母のさまざまなご意見ご感想などお待ちしています。
下記までご一報ください。

同志社大学 心理学部父母会会報　第４号

平成23年６月17日
編集・発行／同志社大学心理学部父母会
〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷1-3
TEL : 0774-65-8220　FAX : 0774-65-8223
E-mail : snr-fubo@mail.doshisha.ac.jp
印　刷／株式会社 石田大成社

心理学部父母会会則

（名称）

第１条　本会は、同志社大学心理学部父母会と称する。

（目的）

第２条　本会は、同志社大学心理学部（以下「学部」という。）の教育方針に則り、教員と学部に在籍する学生の父母又はこれに準ずる者（以下「学生の父母」という。）との連絡を密にし、学生の就学を支援するとともに、学部の教育研究事業を援助し、学部の充実発展に寄与することを目的とする。

（会員）

第３条　本会は、次の会員をもって組織する。
（１）父母会員　　学生の父母
（２）参与会員　　学部に所属する専任教職員　若干名
（３）賛助会員　　本会の趣旨に賛同し、これに援助を与える者

（事業）

第４条　本会は、その目的を達成するため、次の事業を行う。
（１）　学部と学生の父母との連絡を図る行事
（２）　学生の教育、厚生、就職等に必要な事業に対する援助
（３）　学部の教育研究上、必要な施設の拡充及び学術研究に対する援助
（４）　会報の発行及び配付
（５）　その他本会の目的を達成するために必要と認めた事業

（総会）

第５条　本会に総会を置く。総会は定期総会と臨時総会とする。
２　定期総会は毎年１回開催し、臨時総会は役員会の議を経て臨時に開催する。
３　総会は全会員をもって構成し、会長が議長となる。
４　総会の議事は、出席者の過半数をもって決定する。
５　定期総会は、次の事項を決定する。
（１）役員の選出
（２）会則の改正
（３）事業計画、予算及び決算
（４）その他重要事項

（役員及び役員会）

第６条　本会は、事業推進と企画立案のため次の役員を置き、その役員をもって役員会を構成する。
（１）会　長　　１名
（２）副会長　　２名
（３）会　計　　１名
（４）委　員　　若干名
（５）監　事　　１名

第７条　役員は、次の方法によって選任する。
（１）父母会員の中から選出する。
（２）役員は、役員会の推挙により、定期総会に諮って決定する。

第８条　役員は、次の職務を行う。
（１）会長は、会務を統括し、本会を代表する。
（２）副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。
（３）会計は、本会の会計を管理する。
（４）監事は、本会の会務及び会計を監査する。

第９条　役員の任期は１年とする。ただし、重任を妨げない。

第10条　役員会は、必要に応じ適宜開催し、次の事項を審議し、本会の事業を実施する。
（１）役員の推挙
（２）会則改正案の作成
（３）事業計画案、予算案及び決算案の作成
（４）その他会務の運営、執行に関する事項

第11条　役員会は、緊急を要する案件は、総会に代り、審議、決定することができる。ただし、役員会で決定した事項は、総会において報告しなければならない。

第12条　役員会は、必要に応じて、この会則の施行に伴う細則、規程を定めることができる。

（運営資金）

第13条　本会の運営は、父母会員費、寄付金及びその他の収入による。

（父母会員費）

第14条　父母会員費は、学期額3,000円とする。ただし、学生が休学する場合は、父母会員費を免除する。
２　父母会員費は、毎学期の始めに納入しなければならない。
３　父母会員費の徴収は、大学に委託して行う。

（会計年度）

第15条　本会の会計年度は、毎年４月１日から翌年３月31日までとする。

（事務局及び職員）

第16条　本会の事務局を心理学部事務室内に設ける。
２　本会は、本会の庶務会計等の業務を処理するため、職員を置く。

附　則

この会則は、2009年7月18日から施行する。